



社会福祉法人 長野県社会福祉協議会

「福祉だより信州」は共同募金の
配分金で発行されています。

昭和27年1月11日
第三種郵便物認可第746号
平成29年7月25日発行
(毎月25日発行)

福祉だより 信州



CONTENTS

今月のフクシちゃん	2
県社協からのイチオシ情報	4
公益事業の推進に向けて	6
WEB INFORMATION	7
住民主体の福祉活動	8

長野県社会福祉協議会
公民キャラクター



福祉の枠を超えて様々な分野の人たちと
「地域の未来」を考えていきたい



介護や福祉の現場で働いた経験を生かし、
県社協だからこそできる応援をしたい

齊藤 舞さん

佐久市出身。大学で心理学を学んでいたが、出身の長野県で人の役に立つ仕事をしたい思いから、福祉を学べる長野大学社会福祉学部に入職。社会福祉士、精神保健福祉士の資格を取得。平成26年4月、長野県社協に入職。現在は長野県のボランティアや地域活動の周知のほか、小中学校や地域での福祉教育の推進に従事。

清水瑞樹さん

新潟県出身。福祉系大学を卒業し、社会福祉士の資格を取得。新潟県の介護施設や地域包括支援センターで働き、結婚を機に長野市に移住して、平成29年4月に長野県社協入職。県内の住民参加型在宅福祉サービスに取り組む団体のネットワークづくりの担当として活動推進と資質向上を目指し働いています。

市 町村社協と連携し、県域での地域福祉の充実をめざす長野県社協。福祉関係者への研修や各市町村のボランティアセンターとの連携、福祉教育の推進など多岐にわたる事業を展開しています。

そうした県社協で活躍する清水さんと齊藤さん。今年4月から働く清水さんは、介護施設や地域包括支援センターでの勤務を経て、もっと広く子どもから高齢者、障がいを持った方まで関われる社協の仕事に魅力を感じて入職を決めました。



福祉教育の担当として講師を務めたり、福祉を身近に感じてもらえるよう年2回のボランティア新聞を制作する齊藤さん。「福祉教育を通じて、生まれ育った町をよりよくするために何が出来るかを考えるきっかけ作りも行っていきます」と話します。新人の清水さんは市町村社協を回り、地域活動を勉強中。「皆さん、熱い気持ちをもって生き生きと活動をされているので元気をもらっています」

町村社協とつながってニーズを聞くことで、現場ではできない仕組みづくりができたらいと思っています」

そのためには、もっと地域に入っていく。現場で働く人の気持ちにも共感できる清水さんだからこそ生み出せる、新たな視点や取り組みがきっとあることでしょう。

そんな清水さんの先輩である齊藤さんは、社協の仕事の魅力を「制度では対応できない困りごとを抱えた人に対し、寄り添い、仕組みを創造していく可能性がります。また、研修を通して、新たな取り組みへのきっかけを提供できるのはやりがいです」と

話します。そのためには、仕事の上で心がけているのは「市町村社協の先に住民がいることを忘れず、現場の方々がよりよく動けるよう県社協として支援していくこと」。

「地域の最前線で活動している現場の方々の声を聴き、誰のため、何のための取り組みかを見失わないようにしたいです。そのためにも、気軽に話せる県社協でありたいと考えています」

そうした思いを実現するために、県内社協の若手職員同士のつながりをつくる「若手会」を結成した齊藤さん。人と人との魅力的な結びつきは、きっと活力と優しさに満ちた社会の創造につながることでしょ。

地域全体で福祉を考える時代へ

福祉というと高齢者や障がい者をイメージしがちですが、福祉は「ふだんのくらしのしあわせ」を考えていくことです。そのためには、各組織が協働し、個々の福祉課題を地域全体で考えていくことが大切です。今年度は教育委員会主催の研修会で話し、協働へのきっかけづくりも進めています。それにより地域側と教育側の視点を生かした面白い事業ができるのではないかと期待しています。これからも福祉以外の組織とも一緒に、さまざまな取り組みを展開していきたいです。



やりがいと魅力溢れる福祉の仕事

介護の仕事は、とにかくネガティブなイメージを持たれることが多いですが、実際に働くと、高齢者と一緒に生活し、ひとりひとりに寄り添いながら食事や運動など身の周りのお手伝いをするのがとても楽しくやりがいがあると感じました。これは、将来仕事を決める多くの若い人にぜひ知っていただきたいです。福祉の仕事はお互いを思いやり、支え合う醍醐味があります。それに、私は現場の介護職をとても尊敬しているので、県社協でそうした人々を支える取り組みができたうれしいですね。



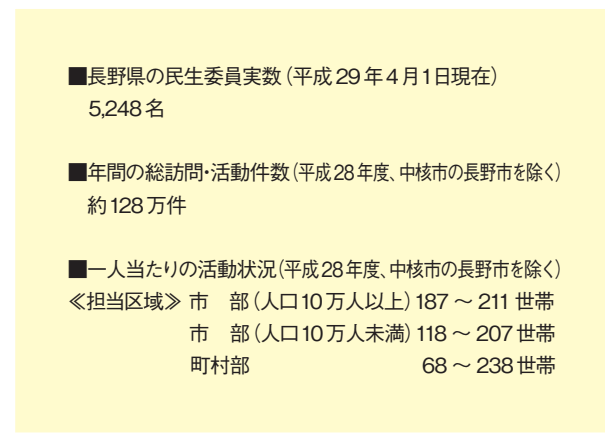
これから地域とともに 民生委員制度創設から100周年



「民生委員・児童委員100周年」シンボルマーク

民生委員制度は、大正6年に岡山県で創設された「済世顧問制度」から数えて、本年で100周年の節目を迎えました。また、民生委員が兼ねている児童委員の制度も70周年となります。

民生委員・児童委員の活動は、その時々々の時代背景を映しながら今日に至っています。



【表1】民生委員・児童委員の活動状況(平成28年度実績/県地域福祉課)

長野県民生委員児童委員協議会連合会(以下「県民児連」という。)では、「広げよう地域に根ざした思いやり」を活動テーマに据え、昨年9月の「長野県民生児童委員大会」において採択された6つの大会宣言を基調とした事業計画を定め、新たな100年に向けた取り組みを進めています。

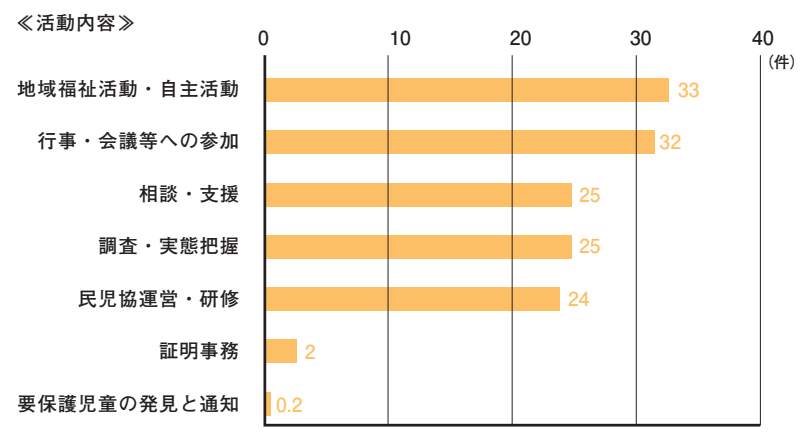
■事業の重点

1 災害時要援護者支援活動の推進

全国各地において土砂災害、噴火、風水害、地震などが多発していることから、様々な生活課題を有する住民の円滑な避難や安否確認、その後の避難生活を支えるための相談支援をはじめ、行政機関や地域の関係団体と連携し、災害時要援護者支援活動の取り組みを進めます。

6 民生委員・児童委員が活動しやすい環境づくりの推進

民生委員・児童委員ならびに単位民児協における課題を整理・検討し、民生委員・児童委員が活動しやすい環境整備とともに民生委員・児童委員の「なり手」確保に向けた検討を進めます。



【グラフ1】一人当たりの年間活動状況(平成28年度実績/県地域福祉課)

児童委員の行政等への協力の在り方やそこで必要となる情報共有等について関係機関との連携を進めます。

5 単位民児協の組織強化の推進

県内、県外民児協や広域での民児協との交換研修の促進を図るため、交換研修等を実施した民児協に対して引き続き助成金の交付を行います。

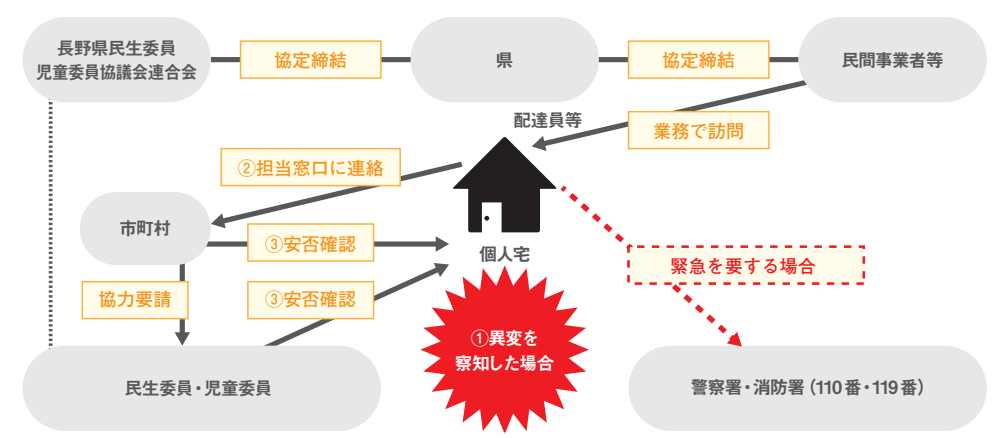


【写真1】「つなぐ」を手にする伊藤篤志県民児連会長

平成28年12月に、全国23万人に及ぶ民生委員・児童委員の一斉改選が行われました。

長野県全体では、新たに5,248名(内2,990名は約57%が新任)が委嘱されました。これまでも、各単位民児協では、会長をはじめ民生委員・児童委員の一人ひとりが地域における様々な福祉課題、生活課題の実情把握に日々向き合ってきました。

長野県の統計によると、平成28年度の民生委員・児童委員の一人当たりの活動状況について、年間の訪問や活動件数



【図1】高齢者等の地域見守り活動(しあわせ信州見守り活動)の協力のイメージ(県地域福祉課)

は、延べ292件で活動日数は、128日に達しています。(活動内容は「グラフ1」)

県民児連では、長野県民生児童委員だより「つなぐ」を年4回発行し【写真1】、全ての民生委員・児童委員に配布しています。これは、4名の編集委員が資料収集や編集方針について会議を重ねながら、国の政策動向の特集や県内各地の活動状況などを多くの写真を交えて紹介しているものです。



【写真2】研修講師の泉 恵造氏(写真左)と伊藤会長

さらに、県民児連では、100周年事業として記念誌の作成を進め足跡を振り返りながら、これからの100年を見据えています。

国が掲げる「地域共生社会」の実現に向けた「我が事・丸ごと」の考えは、これまでの民生委員・児童委員活動そのものと言えます。

2 地域社会での孤立・孤独をなくす運動の推進(図1)

長野県と締結した「長野県地域見守り活動に関する協定」に基づき、協定締結事業者からの連絡を受けた市町村と必要に応じて連携し、安否確認を実施することになっていくため、日常の相談・見守り活動とともに、行政や地域の関係団体と協力しながら住民互助の取り組みを進めます。

3 地域における子育て支援活動の推進

児童虐待や犯罪被害等から子どもを守り、孤立した子育て・孤独な子育てをなくす活動に取り組みます。このため児童委員と主任児童委員が連携し、地域で子どもを育てる機運の醸成を図るため、主任児童委員を対象とした「子育て支援を語るつどい」を開催します。

4 生活困窮世帯(生活困窮家庭)への相談支援活動の推進

誰もが生活困窮に陥る恐れがある社会の中、生活に困っている方が自立するための支援が急がれており、生活困窮者自立支援制度における民生委員・

《平成29年度/研修日程》

<p>■会長研修</p> <p>○平成29年9月4日(月)</p> <p>(東北信会場/長野県自治会館)</p> <p>○平成29年9月12日(火)</p> <p>(中南信会場/松本市浅間温泉文化センター)</p> <p>■主任児童委員研修</p> <p>○平成29年9月5日(火)</p> <p>(東北信会場/長野県自治会館)</p> <p>○平成29年10月10日(火)</p> <p>(中南信会場/長野県総合教育センター)</p>
--

期 日		会 場	参 集 範 囲
北信会場	1期目	平成29年10月23日(月)	長野市芸術館
	2期目以上	平成29年11月06日(月)	
東信会場	1期目	平成29年10月11日(水)	佐久市コスモホール
	2期目以上	平成29年11月14日(火)	
中信会場	1期目	平成29年11月17日(金)	キッセイ文化ホール
	2期目以上	平成29年11月16日(木)	
南信会場	1期目	平成29年10月12日(木)	長野県伊那文化会館
	2期目以上	平成29年11月15日(水)	

WEB INFORMATION

「地域の福祉力強化推進セミナー」(まいさぼレター特別号)をご覧ください。

Special Report まいさぼレター 特別号
 信州パーソナル・サポート事業 支援員等人材育成事業
地域の福祉力強化推進セミナー
 ～生活困窮者支援から地域共生社会の実現を考える～

2017年4月18日開催
 長野県中央福祉センター

生活困窮者自立支援制度の施行3年の経過と今後の展望、生活困窮者自立支援制度の趣旨を共有するとともに、具体的な実践を事例に、地域共生社会の実現に向けた取り組みを考えるセミナーを開催しました。

P.2 ①基礎講演 「生活困窮者自立支援制度等地域福祉施策の今後の動向」
「我が事・丸ごと」 地域共生社会の構築に向けた取り組み
 講師 後藤真一郎 氏 厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 地域福祉専門官

P.5 ②シンポジウム 「地域における総合相談・生活支援の体制づくり」
 個別支援を通じた排除の無い地域づくりの創造に向けて
 コーディネーター 和田啓明 氏 ルーテル学院大学 名誉教授
 シンポジスト 高山さや佳 氏 NPO法人 Happy Start Club 代表理事
 シンポジスト 廣木直彦 氏 社会福祉法人全国福祉社会協議会 専務理事

P.8 ③座談 「地域共生社会の実現と地域福祉施策の展開」
 地域の福祉力を高めるために
 和田啓明 氏 ルーテル学院大学 名誉教授
 後藤真一郎 氏 厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 地域福祉専門官
 矢澤秀樹 氏 社会福祉法人伊那市社会福祉協議会 地域福祉部長

県内23か所の生活就労支援センター「まいさぼ」では、生活や就労などにお困りの方に総合的な支援を行っています。

各まいさぼ支援員は、階層別・テーマ別等の研修にて支援スキルを高めているほか、定期的に発行する『まいさぼレター』により、身近でスピーディーに支援に関する必要な実務の基本や関係機関の情報等を取寄しています。

また、まいさぼ支援員だけでなく、行政、社協、民生委員など関係する皆さんに、生活困窮者自立支援制度や地域福祉施策の今後の動向である地域共生社会の実現に向けた取り組みを考えてもらうため、「地域の福祉力強化推進セミナー」を開催しました。

ホームページでは、「まいさぼレター特別号」として、このセミナーの内容を紹介していますのでご覧ください。

http://www.nsyakyo.or.jp/modules/life_contents/index4_4_32_p1126.html#p1126

連絡先／長野県社会福祉協議会
 相談事業部自立支援グループ
 TEL 026-226-2035



長野県社会福祉協議会の新役員紹介 ～後半～

平成29年6月20日の評議員会で選任されました、新役員を紹介します。



小口利幸 副会長
 所属 長野県市長会



中田富雄 理事
 所属 岡谷市社会福祉協議会



内山二郎 理事
 所属 長野県長寿開発センター



青柳與昌 理事
 所属 長野県社会福祉士会



三井哲 監事
 所属 長野経済研究所



青木一浩 監事
 所属 須坂市社会福祉協議会

福祉職能団体と社会福祉協議会が連携し地域共生社会の実現を！

青柳與昌 理事
 長野県社会福祉士会

福祉職能団体は、「我が事・丸ごと」の地域づくり、地域共生社会の実現や大規模災害時における福祉災害支援等について、県社協及び市町村社協等と連携を図りながら取組む必要性を感じています。福祉専門職の立場を意識しながら理事の役割を果たしたいと思っております。

平成29年度 社会福祉施設 総合損害補償

しせつの損害補償

インターネットで保険料試算できます
 ふくしの保険 検索

老人福祉施設、障害者支援施設、児童福祉施設の
事故・紛争円満解決のために！

加入対象は、社協の会員である社会福祉法人等が運営する社会福祉施設です。

プラン1 施設業務の補償 (賠償責任保険、動産総合保険)

① 基本補償(賠償・見舞)

賠償事故	基本補償(A型)	見舞費用付補償(B型)
対人賠償(1名・1事故)	2億円・10億円	2億円・10億円
対物賠償(1事故)	2,000万円	2,000万円
受託・管理財物賠償(期間中)	200万円	200万円
うち現金補償限度額(期間中)	20万円	20万円
人格権侵害(期間中)	1,000万円	1,000万円
身体・財物の損壊を伴わない経済的損失(期間中)	1,000万円	1,000万円
事故対応特別費用(期間中)	500万円	500万円
お見舞い等		
被害者対応費用(1名につき)	死亡時10万円 後遺障害0.3-10万円 入院時3万円 通院時1万円 (1事故で10万円限度)	死亡時10万円 後遺障害0.3-10万円 入院時3万円 通院時1万円 (1事故で10万円限度)
傷害見舞費用	死亡時100万円 入院時1.5-7万円 通院時1-3.5万円	

◆ [29年度新設] 看護師の賠償責任補償(プラン1-①オプション2)

● この保険は全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約(「賠償責任保険」「普通傷害保険」「労働災害総合保険」「約定履行費用保険」「動産総合保険」)です。

● このご案内は概要を説明したものです。詳しい内容のお問い合わせは下記までお願いします。

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**
 (引受幹事) 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課
 保険会社 TEL: 03(3349)5137
 受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、12/31~1/3を除きます。)

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**
 〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
 TEL: 03(3581)4667 FAX: 03(3581)4763

(SJKNK16-16919 2017.2.3作成)

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

平成29年度 全国200万人 加入!!

http://www.fukushihoken.co.jp

ふくしの保険 検索

保険金額

ケガの種類	プラン	Aプラン	Bプラン
死亡保険金		1,320万円	1,800万円
後遺障害保険金		1,320万円 (限度額)	1,800万円 (限度額)
入院保険金日額		6,500円	10,000円
手術 保険金	入院中の手術	65,000円	100,000円
	外来の手術	32,500円	50,000円
通院保険金日額		4,000円	6,000円
特定感染症の補償		上記後遺障害、入院、通院の各補償金額(保険金額)に同じ	
葬祭費用保険金 (特定感染症)		300万円(限度額)	
賠償責任保険金 (対人・対物共通)		5億円(限度額)	

年間保険料(1名あたり)

タイプ	プラン	Aプラン	Bプラン
基本タイプ		350円	510円
天災タイプ(※) (基本タイプ+地震・噴火・津波)		500円	710円

(※)天災タイプでは、天災(地震、噴火または津波)に起因する被保険者自身のケガを補償しますが(天災危険担保特約条項)、賠償責任の補償については、天災に起因する場合は対象になりません。

保険金をお支払いする主な例

ボランティア行事用保険 送迎サービス補償 福祉サービス総合補償

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険) (傷害保険) (傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。お申込み、詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ ●

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**
 (引受幹事) 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課
 保険会社 TEL: 03(3349)5137
 受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、12/31~1/3を除きます。)

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**
 〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
 TEL: 03(3581)4667 FAX: 03(3581)4763
 営業時間: 平日の9:30~17:30(12/29~1/3を除きます。)
 この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

(SJKNK16-16921 2017.2.3作成)



上：村祭りでのうどんは大人気商品です。
右：タケノコ採りなど交流も盛んです。



木島平村にある男倶楽部は、文字通り男性だけのグループで、男性シルバー世代の心身の健康と生きがいを目的に活動しています。メンバーはおおむね60歳以上の方がほとんどで、村祭りでのうどん販売やマレットゴルフなど、自らの趣味を生かした活動を楽しみながら行っています。

自分たちがやりたいことをやりたいときにやる、ボランティア活動を強制しないなどをモットーに今年で活動10年目を迎えます。メンバー間の交流のほか、他団体との交流も積極的に行っています。

メンバーには村外からの移住者も多いことも特徴です。その人の趣味を地域に見せる場として、この男倶楽部があり、男性と地域を結びつけるかかっています。

連絡先／下高井郡木島平村住郷 908-3 木島平村社会福祉協議会
TEL 0269-82-4888 FAX0269-82-4344

今月の逸品

しあわせの重ね焼き 信州そば〜む

今年からお手頃サイズの「小丸バウム」も始めました。ふんわり・もちり・しっとりの新食感の「そば〜む」を、ぜひお買い求めください。

社会福祉法人しあわせ クロスロードあおき
長野県小県郡青木村田沢 3238-4
TEL 0268-49-0604 FAX 0268-75-8057



webでも
ご覧になれます

情報掲示板

県社協からのお知らせ

- 平成29年度介護支援専門員実習指導者養成研修
日程／平成29年9月15日(金) 10:00～16:30(予定)
会場／長野県総合教育センター(塩尻市)
応募締切／平成29年7月28日(金)
受講料／3,000円
問合せ先／社会福祉法人長野県社会協議会 福祉人材部研修グループ
TEL／026-226-2000

新着助成金情報

- 平成29年度(第24回)ボランティア活動助成
問い合わせ先／公益財団法人 大和証券福祉財団
応募締切／平成29年9月15日(金)
TEL／03-5253-1111(内線4826)
URL／<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000170824.html>
- 平成29年度子ども子育て支援推進調査研究事業に係る二次公募
問い合わせ先／厚生労働省子ども家庭局総務課少子化総合対策室研修・研究助成係
応募締切／平成29年8月10日(木)
TEL／03-5253-1111
URL／<http://shourikikouseikai.or.jp/works/kanja/doc.html>

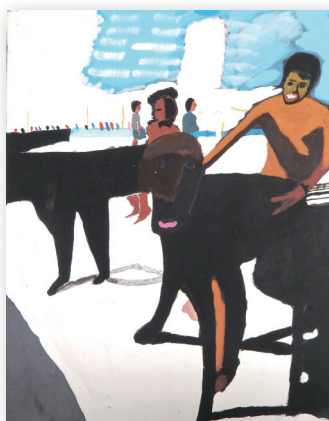
- ご感想、お問合せ、掲載希望等は下記へお寄せください。

長野県社会福祉協議会
総務企画部 総務グループ
TEL 026-228-4244 FAX 026-228-0130
E-mail soumu@nsyakyo.or.jp

webでも
ご覧になれます



ざわめくアート



『無題』
矢島慎一郎(やじましんいちろう)
1973年生 上田市在住

公募展「ザワメキアート展2016」で選ばれた作者の一人である。作者専用の机にはいろんな色の絵の具が置かれており、それらの絵の具を混ぜては自分なりに納得する色を決めながら絵を描いている。また実家には膨大な量の色見本が作られているらしい。そして、その根拠は不明だがある時期は『こんな色』とこだわりがあり、着ている服や、絵に使われる色に表れる。色を探求するその姿勢には頭が下がる。作者の机の上の壁に飾られていたのが今回紹介する絵だが、

作者に聞いてもこの絵はいつ描いたのか、タイトルは?と聞いても首をかしげるばかりだ。おそらく何かの雑誌のグラビアを見ながら描いたのだろう。明るい陽光が降り注ぐ風景だが、そこにはどこか不安を掻き立てる何かを感じさせる何ともシュールな絵だ。